

# 営農情報

第12号 平成28年8月19日発行

(大豆営農情報 8月号)

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 1 大豆の生育概況

播種は7月18～22日頃を中心に行われ、7月25日頃までに概ね終了しました。

出芽・苗立ちは良好ですが、乾燥状態が続いている一部のほ場で発芽の遅れが見られました。

ほとんどのほ場で中耕・培土作業が行われ、生育は順調で、適期播種したほ場の開花期は平年並みとなる見込みです。

## 2 病害虫防除

現在、ほ場での白変葉は少ない状況ですが、ハスモンヨトウは気温が高く降水量が少ない条件で多発しやすいことから今後の発生に注意が必要です。特に開花期（8月下旬～9月上旬）に被害を受けると、収量が減少しますので、白変葉が目立ち始めたら防除を実施して下さい。

### [1回目防除] 8月下旬～9月はじめ（白変葉が目立つ場合）

農薬名		希釈倍率	散布量 (10a)	薬量	対象病害虫
液剤	プレバソンフロアブル5	4000倍	100L	25ml	ハスモンヨトウ
粉剤	マトリックジョーカー粉剤DL	—	4kg	—	ハスモンヨトウ カメムシ類

### [2回目防除] 9月中旬（ハスモンヨトウ、カメムシ、柴斑病対策）

農薬名		希釈倍率	散布量 (10a)	薬量	対象病害虫
液剤	プレバソンフロアブル5	4000倍	100L	25ml	ハスモンヨトウ
	キラップフロアブル	2000倍		50ml	カメムシ類
	トップジンM水和剤	1000倍		100ml	紫斑病
粉剤	スミトップM粉剤	—	3～4kg	—	カメムシ類 紫斑病、子実害虫

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！**